

たいない

議会だより

No.54

平成30年2月15日
(2018年)

【題字】三野原 みのはら 優羽 ゆうさん

星の宮町在住の小池さんファミリー

左から 星花 (せいか) さん 4歳
涼花 (すずか) さん 小1
咲翔 (さくと) さん 1歳

女性委員・会員との意見交換会

一般質問 (10人)

平成29年第4回定例会の議決結果

会派視察報告

常任委員会審査

2～3ページ

4～13ページ

14ページ

15ページ

16～17ページ

意見交換会を開催！



【産業文化会館で行われた意見交換の様子】

市議会では、平成29年11月17日（金曜日）に市内の各種団体等で活動されている女性委員・会員の皆様との意見交換会を開催しました。当日は、21名（13団体）に参加いただき、グループに分かれ「子育て・教育・学び」、「健康・福祉」、「生活基盤」の3テーマについて意見交換を行いました。

参加者からいただいた貴重なご意見は、市執行部と情報共有を図るため、井畑市長へ手渡すとともに、今後の議会活動に活かしてまいります。

なお、主な意見等を次ページに掲載しましたが、全ての内容は市ホームページに掲載しています。



【意見は井畑市長へ手渡されました】

今回の意見交換会に対する感想（主なもの）

- ・開催する時間帯を夜だけでなく、昼間にやってもいいと思う。
- ・出た意見をどのように市政に生かしたかを報告して欲しい。
- ・少しでも具体化していただけるものがあれば、ありがたい。意見交換会での内容のどのようなことが実現できているか伝えてもらえると嬉しい。
- ・これからも、このような意見交換の場が必要なので、続けて欲しい。

開かれた議会を目指して

女性委員・会員との

女性委員・会員との意見交換会（主な意見）

項目	質問・要望等
子育て・教育・学びについて	・中学生・高校生の通学時間帯に通学バスがない。のれんす号は時間が合わない。
	・待機児童について、ママ達に保育園の情報が伝わりづらい。
	・それぞれの保育園の特徴が知りたいので、見学会があれば良い。
	・各保育園の入園パンフレットの充実をお願いしたい。
	・廃品回収を欠席するなら、お金を支払ってほしい。
	・校長先生が変わると、学校の雰囲気が変わり、教師の意識も変わる。引継ぎはないのか。
	・「あいさつ運動」は、効果がある。子供も「おはよう」と返すようになる。
	・先生のサラリーマン化で、子どもを叱れない。先生の資質の問題。
	・いじめ問題は、クラス替えで解決できるが、1クラスでは、クラス替えができない。
	・妊婦の時に、情報提供して欲しい。自分から情報を取りに行く必要があるが、精神的にも時間的にもその余裕がないので、教えて欲しい。
	・市報には、情報が掲載してあるが、間近にせまったものばかりなので、もっと大まかでいいので年間スケジュールがあれば助かる。
	・ママ友と気軽に会う場所が欲しい。大きな公園があればいい。胎内市にないので、新発田市の五十公野公園まで行っていた。
	・ひだまり保育園の縦割り保育は、良い印象がある。大きい子が小さい子の面倒を見るので、子どもの意識が変わる。
	・兄弟姉妹を同じ保育園に預けたい。別々の保育園だと送り迎えが時間的にも精神的にも大変である。
・樽ヶ橋遊園の大型遊具はとても良い。子どもは、喜んで遊んでいた。	
健康・福祉について	・鼓岡小学校が廃校となったため、子ども達がふれあう機会がない。
	・市の補助金を活用するアドバイスをして欲しい。
	・健康づくりの大人の屋外遊具があると良い。
	・健伸館の集客が伸びない。奥まっているので看板があると良い。
	・子どもや高齢者が集える場所があると良い。
	・防災無線の放送にタイムラグがある。緊急を要するのに、要請から放送まで30分以上かかるとは、事態が深刻になってしまう。瞬時に対応できるようにして欲しい。
	・集落でも役員はほとんど男性で、女性の意見が反映されづらい。
	・デマンドタクシーの便数を増やして欲しい。
生活基盤について	・昨年のこの意見交換会で、つつじヶ丘地内の交通事故の話をしたが、その後、道路に色分けしてもらって有難く思っている。
	・坪穴地区のY字路（スキー場方向とロイヤル方向）や中条工業団地のつきあたりで113号線とのT字路に石碑がある場所の草が伸びているが草刈りは行わないのか。
	・陸上競技場脇の交通公園が利用されていないが、どうなっているのか。
	・中条中学校は生徒数が多く、部活の練習場所の確保が難しいため、ふれすぽを利用してはいるが、それまでの道が狭く危険である。拡張して欲しい。また、冬期間は1人150円でジャンボタクシーを利用してはいるが、バスでの送迎はできないか。昨年この話を出したのに今年度の予算に組み込まれていないので不満である。
	・市内に、透析のできる病院がない。中条病院に透析の機械があれば助かるのだが。
	・学校給食がおいしくない。量が少ない。
	・胎内小学校前の道路に消雪パイプが欲しい。
	・鷹の巣街道の吹きだまり防止用の板の設置をもっと早くやって欲しい。また、この街道は、速度制限の標識がないので飛ばす車が多い。標識を設置して欲しい。
	・本町通りから中条小学校に通じる大川町の通りが狭くて危ない。
	・荒惣前の道路、オーロラ前の交差点付近、及び鼓岡の橋の所が、雨水や雪解け水が溜まるので何とかならないか。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



小野 徳重 議員

不審船漂着時の対応について

議員 日本海沿岸に北朝鮮籍とみられる不審船が相次いで漂着している中、胎内市国民保護訓練を実施したが、その検証と課題について伺う。

市長 不審船の漂着により武器を所持した不審者が上陸した疑いのある緊急事態を想定した訓練であり、今回の訓練で海岸集落住民の危機意識の醸成を図ることが出来たと思うし、大きな課題等はないが、今後、関係機関と連携、協力し、様々な想定の中で避難実施要領のパターンを考えていく必要がある。

議員 相次ぐ不審船の漂着で市も危機感を抱いていると思うが、今まで関係機関とどの程度協議を重ねてきたのか。

市長 これまで国・県等との協議は特段のところなされていないのが実態である。

議員 先日、村松浜へ難破船が漂着したが、市民の安全安心を図る観点から、すぐ情報を発信して注意喚起すべきと思うが、防災行政無線による情報提供は行ったか。

総務課長 住民から通報を受け市では認識したが、防災行政無線での放送はしていない。



松前小島に漂着した不審船

洋上風力発電について

議員 岩船沖洋上風力発電建設計画が収益性の関係で現時点での事業化は難しくなり、実質無期限延期となったが、村上市の現実を踏まえ市長は今後どのようなスタンスで臨むのか。

市長 村上市の状況を踏まえ解決すべき諸課題の調査を行いながら、事業化への道筋を見出すべく精査し事業を推進していきたい。

議員 全市民に対して説明会、意見交換会を行うとしているが、いつ頃どのように行うのか。

市長 根幹にかかわる不透明な要素はあるが、できれば来年度からそのような場を設けたいと考えている。

樽ヶ橋遊園整備工事設計業務委託について

議員 樽ヶ橋遊園整備工事設計業務委託の契約締結をしているが、計画内容について伺う。

市長 老朽化した管理棟、動物舎等の施設や電気、放送、給排水等のインフラ設備の更新及び屋根付き休憩施設の整備を盛り込んでいる。

議員 屋根付き休憩施設とはどのような施設なのか。

商工観光課長 雨天時の避難施設で、400㎡、100人程度を収容できる施設として現在検討している。



整備が待たれる樽ヶ橋遊園

【その他の質問】

・自動体外式除細動器（AED）の設置状況について



榎本 丈雄 議員

小規模兼業農家に対する 支援について

議員 平成30年度より国による生産調整の廃止、10アール当たり7千500円の直接支払い交付金も廃止されるが、7千500円を市のとも補償に運用できないか。また、生産調整はどのようにになっているか。

市長 各種補助制度、交付金を充実させることについては国に要望する。県のほうで参考値として、生産調整目標及び指針は昨年並みとのことである。市と農協が共通認識に至れば、7千500円の一定部分をとも補償の確実な運営のため支援していくことが可能と考える。



J A胎内市

市道整備と消雪パイプ整備、 国道290号線拡幅に伴う 工事について

議員 市道の破損箇所及び消雪パイプ延長の新規計画はあるか。また、国道290号線下水道マンホールポンプ制御盤の移設工事と完了予定はいつごろか。

市長 市道については、事故につながる箇所は早急に、その他の箇所は緊急性や公益性を考慮して対応する。消雪パイプは国の補助事業を活用し、除雪重機の入りづらい箇所から優先的にやらせてもらう。国道290号線の件は年明けの2月末に予定している。

買い物が困難な市民への 援助について

議員 商店のない地域で注文をとり、必需品を届けるシステムが求められているが、対応策はあるか。

市長 市の地域支えあい体制づくりの取り組みの中で買い物サポートが行われている事例もあるので、さらなる推進をし、行政支援を行いながら解決につなげていく。

小中学校のいじめと 食事対応について

議員 胎内市においていじめはあるのか。また、どの程度把握しているか。

教育長 いじめについては小学校2校において1件ずつとなっており、早期発見と解決に努めている。いじめは絶対に許さないと強い決意で対応していく。

議員 胎内市に子ども食堂が開設されたが、各地域にて開設が求められる。市として支援を行う考えは。

市長 本年度西本町第3地域の事業開始に当たり、県の補助制度を活用した。今後開設を希望する事業者が市に対して支援を求めた場合は協力・サポートする。

【その他の質問】

・塩沢、船戸霊園の利用状況について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



佐藤 陽志 議員

子育て支援策について

議員 市長の子育て支援に関する思いと、現在考える具体策を伺う。

市長 胎内市が100年先も持続的に繁栄していくために、若い世代の人たちがゆとりと希望を持ってこの地域で暮らしていきたいと思うことが必要と考える。具体的には、まず子育て世代包括支援センターの設置に向け、必要となる人材の確保と育成を行っている。現在、地域支え合いサポーター養成講座を実施しており、子育て支援等の課題を地域ぐるみで解決していくための人材を養成していく。また、子育て支援センターの職員が地域の公民館や集会所へ出向き、遊びの場の提供や子育て相談などを行っていると考えている。



幼児と保護者のための子育て支援センター

胎内市の教育について

議員 市長は所信表明の中で胎内市の教育を充実させるとしており、そのための方策としてコミュニティ・スクールの導入をにかけている。これに関する思いを伺う。

市長 学校と地域が支え合い、高め合う関係となり、子どもたちにとっては自分たちの住む地域についての学びとなり、地域への愛着やほころいにもつながるものと考えている。

議員 インフルエンザなどの冬期の感染症対策として、温水器の設置とお湯での手洗いを推奨してはどうか。

教育長 児童生徒用については小学校に54台、中学校に21台設置している。

学校教育課長 十分にいきわたっている状況ではないが、検討する。

議員 学校で排泄しづらい状況はあるか。臆することなく使用できる工夫が必要と考えるが、いかがか。

学校教育課長 全国的には、男子において学校で用を足さないとという方が4割程度いる。我慢せずにいつでも行けるような雰囲気づくりに重点

的に取り組んでいきたい。

樽ヶ橋遊園について

議員 市民から無料で楽しめる大型遊具が欲しいとの声がある。この度設置された大型遊具をこのような保護者の思いに対応するため、樽ヶ橋遊園の入園券を有効期間1カ月とすることを検討できないか。

市長 入園券の有効期間の延長のほかにも年間パスポートやポイントカード等の発行について検討し、より多くの方々にとって利用しやすい施設となるよう、工夫していきたい。



樽ヶ橋遊園の大型複合遊具



八幡 元弘 議員

マイナンバーカードの活用について

り組んでいきたいと考えている。

議員 マイナンバーカードの申請、交付件数は。

市長 11月30日時点で、申請は2千52件、交付は1千908件。対象者に対しての交付率は、6.3%となっている。

議員 コンビニエンスストアでの住民票の写し等の交付の予定は。

市長 利便性が向上する行政サービスであるのは確かだが、イニシャルコスト及びランニングコストが多額であるので、現状では投資に見合う効果が見込めないと感じている。

議員 図書館や市の施設での活用は。

市長 図書館システムが対応可能なので、今年度中の利用開始に向け取

マイナンバー制度3つの目的

- 1. 公平・公正な社会の実現 給付金などの不正受給の防止
- 2. 国民の利便性の向上 面倒な行政手続きが簡単に
- 3. 行政の効率化 手続きをムダなく正確に



公園について

議員 市内の公園の数は。

市長 都市公園が7か所、宅地開発による緑地帯の公園が21か所、児童遊園が36か所、森林公園が4か所、河川公園が3か所であり、合計71か所である。

議員 現在、造成中の公園は。

市長 二葉町に今年度と来年度の2カ年計画で防災機能を備えた公園と、さらに来年度、中条駅西口方面に防災公園を整備する予定である。

議員 市民が憩い、集うことのできる公園を新たに整備する考えは。

市長 現在のところ、財政状況等を勘案すると難しいが、将来的に整備を考えると有益性や必要性は極めて高いと認識している。



スマートインターチェンジについて

議員 設置に向けた現在の状況と今後の見通しは。

市長 新潟国道事務所とコスト削減に向けた協議を重ねるとともに、地権者等や利害関係者の意向確認を行っている。また、11月8日に財務大臣をはじめ、地元選出の国会議員、国土交通省の道路局長等に会い、早期事業化に向けた要望書を手渡してきた。

今後の見通しは、平成30年度に事業が認可され、順調に進捗した場合、平成32年度に着工、平成34年度中に供用開始の見通しとなる。

議員 フルインターチェンジとハイウェイインターチェンジ、どちらになる予定なのか。

市長 平成27年6月に準備段階調査箇所指定されてから、準備会を設置し、様々な調査や市民アンケート等を行い、事業採算性を精査し、特段の事情がない限りフルインターチェンジとして進めていくことが結論付けられている。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



羽田野孝子 議員

特別養護老人ホームについて

議員 私の年代の女性の多くの方から「国民年金しかもらっていないので将来が不安。年金だけで入れる特別養護老人ホームがあるのか」と聞かれる。それについて伺う。

市長 負担限度額認定申請等によりサービス利用料も軽減措置を受けることで、例えば年金月額6万5千円の方が特別養護老人ホームの多床室に入所する場合は利用者負担額が約4万3千円まで軽減できる制度設計になっている。

議員 現在の入所者と待機者の状況について伺う。

市長 12月7日現在、市内5つの特別養護老人ホームの入所者の合計は定員237名中236名の入所で待機者数は

86名で、要介護3以上で入所の必要性が高い方が25名である。

議員 入所順位の公平な選定について伺う。

市長 それぞれの特別養護老人ホームに設置されている入所検討委員会で県の指針に基づき決定されている。

議員 経済状況は本人、配偶者、家族のどこまで含めるか伺う。

福祉介護課長 経済状況は評価基準等の中に入っていない。



特別養護老人ホーム とっさか

産業文化会館の利用状況と使用料について

議員 多目的ホールの利用率について伺う。

教育長 平成28年度の利用率は平日で33.7%、土日・祝日で54.2%である。

議員 ピアノ教室の発表会で利用すると1日で6万円前後かかると聞いた。子育て支援上、現在20%減免を市内の社会教育団体並の50%減免等できないか伺う。



胎内市産業文化会館

奨学金の利用状況と給付型奨学金の創設について

議員 大学院へ進みたい息子さんの母親から大学院生に奨学金はないのかと聞かれた。利用状況と給付型奨学金創設について伺う。

教育長 高校生から大学院生まで経済的な理由により就学が困難な方に対し、無利子で奨学金を貸与している。直近3カ年において受けた方は平成29年度26人である。新たに創設された国や県の給付型奨学金の運用状況を見ながら考えていく。

教育長 実態を調査して、保護者の負担感を把握した上で子育て支援に関する行事での使用料減免について検討する。



坂上 清一 議員

胎内市民の健康・体力づくりについて

議員 第2次胎内市総合計画において、市民の心と体の健康を守るために健康に関する啓発や専門的な指導、市民活動に対する支援を行っていくと計画しているが、市の具体的な支援体制についての答えは。

市長 少年期には、学校で健康診断や虫歯予防、食育の推進及び体力測定等を実施し、部活動やスポーツ少年団への参加等も含め、運動の取組みを進めている。青年期においては、20歳から子宮頸がん検診の受診^{かんしよ}奨励や中小企業の健診時に健康ブラスを設け、運動、栄養、禁煙、メンタルヘルス等の知識を普及啓発している。



特定保健指導会の様子

検診の受診^{かんしよ}奨励及び生活習慣病予防のための栄養、運動、生活リズム等の指導を組み合わせた各種教室を実施している。今後も効果的な支援ができるよう、努めていくことが肝要と考える。

集落内危険箇所 の改修について

議員 小長谷、下荒沢、宮久集落において道路両脇の側溝の深さが1mくらいあり、大変危険と思われる。又、市内集落においても危険箇所があると思うが、どのように把握しているか、改修していくか、今後の市の対応について伺う。

市長 指摘箇所の道路側溝は、路面より側溝がだいぶ下のほうにあるなど、道路の形状が特殊な部分もあるため、地域の要望も聞きながら、危険な箇所の修繕を行って対応していきたいところである。
漏れ落ちのないよう、連絡とパトロールと市民の皆様からスマートフォンによる通報、あるいは区長さんとの話の中で要望等もいただく機会もあるので対応して行く。

市内街路樹の 手入れについて

議員 観光客や市民にも誇れる美しい胎内市をアピールするには素晴らしい景観、環境づくりが大事なものであると思う。道路脇街路樹等の手入れはどのようにして行くか伺う。

市長 平成25年以降、剪定は行っていないことから、生育状況を見きわめ、来年度から各道路について計画的に剪定作業を進めていく。市民の方からも丁寧な管理をして、訪れる方々に心地よい思いと、心情を感じていただけるようなまちづくりを進めることが肝要と思う。



側溝が深く危険な道路

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



渡辺 栄六 議員

インフルエンザ予防接種 助成拡充について

議員 中学3年生である受験者を対象とした生徒や、ひとり親家庭の子ども

のインフルエンザ予防接種へのさらなる助成拡充ができないか。

市長 現在、中学3年生まで助成対象範囲を拡大している。まずは現状の助成を継続し、更なる拡充の必要性、有益性等を検討していく。

議員 回復後に登校する場合、治療証明書の提出が必要か。せっかく回復したのに再び病院に行くことにより、新たな病原菌に感染してしまうリスクを負うことになるが。

教育長 医師から登校許可証明書で感染症と診断した日、また登校可能と認める日を記載発行してもらい、登校を許可しているので従来どおり

の形でやる方向である。

地域インフラの 安全対策について

議員 高畑地内の新胎内橋は歩道がなく、道路幅が狭いため、通学の自転車やバイクなどの通行時が危険であるが、現状の認識と対策は。

市長 交通量も多く、幅員が狭いため、自転車や歩行者の往来に支障があると考え、県に対して歩道の設置を要望している。いまだ未整備のため、積極的な要望を継続していく。

議員 橋梁の体力度調査では、長寿命化にするのか、あるいは架け替えにするかの判断は。

地域整備課長 断面修復工事を行ったということで長寿命化を図る方向で進んでいる。



高畑地内の新胎内橋

行政サービスの 向上について

議員 市が主催する行事などの開始前に、参加者に対し施設内のAED設置場所と、地震発生時などの避難経路を案内すべきと考えるが。

市長 今後これらの情報を案内し、AEDを使用する事態が生じた場合は職員が対応できる体制を整えていく。

議員 市役所入り口に設置されたイ

ンフォメーションボードで間近に開催される、また当日開催される行事やイベント情報を周知する計画はないか。

市長 情報を可能な限り表示し、より多くの方に胎内市を知っていただくよう内容の充実を図っていく。



市役所入り口に設置されたインフォメーションボード



森本 将司 議員

スマートインター及び 中条中核工業団地について

議員 国が総事業費の圧縮を求めていることが、今年度のスマートインター事業化を見送った理由のひとつであるが、コスト削減について対応策はあるのか。

市長 近隣の工事で発生する余剰な残土などの低廉な資材の調達や高速バスの停留所の移設の可能性について検討している。

議員 全国の候補地の中で胎内市が遅れている理由について市長の考えを伺う。

市長 私も議員と同じ疑問を感じている。先進地では一定のコストダウンが図られており、遅れているところに関しては、合意形成や用地交渉が進んでいないようである。自分の印象では

胎内市はそれらの中間と考える。

議員 建設機械メーカーのコマツは本社機能の一部を創業地である石川県へと移転した結果、既存社員の結婚率、子どもの数ともに大幅に増加した。生活コストの安い地方への機能分散は企業側にもメリットがあると思うが、胎内市への本社機能を有する企業誘致についての市長の考えを伺う。

市長 現在、産業の核となるような優良企業の誘致に取り組んでいるところであり、本社機能も併せて移転していただけるよう働きかけをおこなっているところである。既に進出済みの企業についても適宜行う考えである。



スマートインターチェンジ

買い物のついでに 投票ができる環境を

議員 16年の改正公職選挙法により商業施設や学校等、人通りの多いところへの投票所の設置が自治体の判断で可能となった。投票所に足を運ばず買い物ついでに投票を行えることにより、効果を上げている自治体もあるが、胎内市への設置は。

選挙管理委員長 共通投票所の設置にあたっては二重投票の防止が大切になっており、共通投票所と投票所のリアルタイムな情報共有が必要となる。仮にオンライン下で行うと初

期費用も高額になる。利便性や若年層の投票率向上の可能性は認めるところであるので今後、他市町村の動向も調査しつつ検討していきたい。

議員 投票日の投票所についてコスト面で現実的ではないことは承知しているが期日前投票所ではどうか。

選挙管理委員会書記長 期日前投票所1箇所につき250万円と試算している。今回の衆議院選挙では実施自治体によって投票率は10%前後のばらつきがあるが、費用対効果の面でも検討の余地があるので今後検討させていただきます。



【その他の質問】

・基幹相談支援センター及び地域生活拠点について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



丸山 孝博 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

中条駅西口整備について

議員 新設される西口へのアクセス道として中条中央病院脇から中条駅西口通り線が整備された。

飲食店が次々開店し、住宅やアパートが建ち並びこの辺りは一変したが、これに伴う今後の周辺整備は。

市長 交通状況や土地利用の変化、民間開発等の動向を勘案し、バイパス道路等を整備し、市民が生活しやすいまちづくりの実現に取り組む。

議員 供用開始になって地域住民が一番心配するのは、西口に向かう送迎用の車である。八田方面へのアクセス道路はどうしても必要だ。

また、中条中央病院脇に信号機の設置や線路沿いの水路にガードレール

ルの設置も必要だがどうか。

市長 アクセス道については、先行して用地を取得しなければならぬ部分は手当たしたい。また、信号機の設置については公安委員会に要請していく。

地域整備課長 水路については、土地改良区と協議し改善するよう進めたい。

議員 膨大な事業費で利便性や地域の活性化がされるだけに、中条駅の利用者増のため、JRに運行本数を増やすよう働きかけるべきでは。

市長 本市はもとより沿線市町村共通の問題として要望しており、市単独としては「きらきらうえつ」を中条駅に停車できるように要望してい

る。今後も可能な範囲で進めていきたい。



中条駅西口

国民健康保険税の負担軽減について

議員 国保税は上がり、滞納者は増えるという構造的な問題が深刻化している。市の実態はどうか。

市長 年齢構成が高く、所得水準が低く、負担が重い状況である。

議員 これ以上の値上げはやめ、値

下げすべきでは。

市長 財政支援の拡充がなされることから、現状より増額することは考えにくい。

議員 来年度の国保税について、国保の運営協議会に示されたと思うがどうか。県の平均と比べてどうか。

市民生活課長 仮算定で県から示されたのは9万4千48円で、県の平均は8万9千311円である。

議員 所得250万円の40代夫婦と2人の子ども世帯の国保税は。

市民生活課長 47万9千900円になる。

議員 介護保険は、生活保護基準以下になる場合保険料を減免しているが国保にはこの適用がない。適用すべきでは。

市長 一考の余地ありで検討する。

介護保険料について

議員 来年度からの介護保険料の見直しはどうか。

市長 現行の保険料と同額である。



佐藤 武志 議員

中条中学校校舎及び施設について

議員 中学校の生徒・教職員が出入り口に当たる側溝の水はけが悪く、大雨などが降ると水が校内に溢れ、生徒たちが靴を脱いで通らなければならぬ事態になっている。

生徒たちが安心して通えるように早急に、改善できるのかを伺う。

教育長 今後の対策として、敷地内に雨水処理施設、排水路の改修など道路側溝から流れ込ませないよう様々な対策を講じ、関係部局との協議も含め、改善に向けて行っていく。

議員 中学校の一部、校舎外壁が崩れ落ちる危険箇所がある。

また、全階廊下の窓側が、雨漏れにより生徒たちの靴・コート類など

が濡れることがある。日頃から子供たち・生徒が学ぶ校舎を安全な施設として進めて頂きたい。今後の改善、対処について伺う。



中条中学校の玄関付近

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

教育長 外壁の剥落箇所は、校舎西側の屋上部分から剥落したもので、本年度途中に確認し、応急的に外部の剥落箇所を中心に30年3月までに補修する。

また、校舎西側の廊下雨漏れについては、窓サッシのシーリングが劣化、雨が風でふきつけられサッシレールから浸水してくるものと、外壁の劣化によるクラックなどの損傷部分からとみられ、サッシ部分を補修したところ改善された。

外壁の損傷部分からは、雨漏れする状態になっており、次年度以降に廊下サッシと外壁改修の準備を進めている。

喫煙施設について

議員 胎内市は、喫煙による昨年度のたばこ税、1億8千27万円、全国では、2兆円強もの税収がある。

受動喫煙に対しては、喫煙者はマナーを守り、指定場所は守っている。

喫煙者の喫煙の権利もあり、公共の施設での風雨寒暖をしのげる喫煙場所を設置する考えについて伺う。

市長 胎内市は、たばこの税収・生産者農家の方々による収益、所得税など大きな収入でもある。

喫煙者の権利、禁煙者に対する配慮という意味で、いずれかの段階で、ごく簡易なものでも考えさせていきたい。

共通割引券について

議員 圏域全体の活性化を目指し、新潟広域都市圏共通券が発行されているが、今後、施設内の改修はないのか。

生涯学習課長 31年度からの計画に盛り込んでいきたい。



胎内昆虫の家

平成29年第4回定例会議決結果

第4回定例会は、12月5日から12月22日までの18日間にわたって開催されました。市長提出議案については、補正予算11件、条例の一部改正8件、条例の制定3件、条例の廃止1件、農業委員会委員の任命14件、その他4件が審議され、下記のとおり議決されました。

全会一致で可決（同意）された議案	
平成29年度補正予算 ・一般会計補正予算（第5号） ・介護保険事業特別会計補正予算（第3号） ・農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） ・簡易水道事業特別会計補正予算（第3号） ・地域産業振興事業特別会計補正予算（第2号） ・鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算（第2号） ・公共下水道事業会計補正予算（第1号） ・水道事業会計補正予算（第3号） ・一般会計補正予算（第6号） ・国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） ・介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	条例の制定 ・いじめ問題対策連絡協議会条例 ・いじめ問題対策委員会条例 ・いじめ問題調査委員会条例 条例の廃止 ・教職員住宅条例を廃止する条例 人事案件 ・農業委員会委員の任命について【田村信秀氏】 ・農業委員会委員の任命について【緒形文一氏】 ・農業委員会委員の任命について【忠 貞夫氏】 ・農業委員会委員の任命について【馬場 勝氏】 ・農業委員会委員の任命について【松村 智氏】 ・農業委員会委員の任命について【今井輝子氏】 ・農業委員会委員の任命について【森田 謙氏】 ・農業委員会委員の任命について【西奈美公平氏】 ・農業委員会委員の任命について【南波雅子氏】 ・農業委員会委員の任命について【川上勝之氏】 ・農業委員会委員の任命について【花野隆雄氏】 ・農業委員会委員の任命について【榎本 太氏】 ・農業委員会委員の任命について【阿部 実氏】 ・農業委員会委員の任命について【水澤正明氏】
条例の一部改正 ・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ・特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	
その他 ・権利の放棄について（採掘権：塩沢地内） ・権利の放棄について（採掘権：下館地内） ・公の施設に係る指定管理者の指定について【施設名：デイサービスセンターと・も・だ・ち】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【施設名：デイサービスセンター栗木野荘・いわはら荘】	

※全会一致で可決された議案については、議決結果表を省略。

賛否が分かれた議案																				
議案名	議員名														議決結果	賛成※	反対※			
	高橋政実	羽田野孝子	森本将司	八幡元弘	佐藤陽志	渡辺秀敏	坂上清一	小野徳重	渡辺栄六	天木義人	佐藤武志	榎本丈雄	薄田智	渡辺俊				桐生清太郎	渡辺宏行	丸山孝博
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 内容：官民給与の格差是正のために国においてなされた人事院勧告の趣旨を踏まえ、国家公務員の給与改定に準じて市議会議員の期末手当について、平成29年12月期から、年間で0.05月分引き上げるもの。	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	15	2

※○：賛成、×：反対

※議長は地方自治法第116条により表決には参加しません。ただし、賛成、反対が同数の場合は同法第116条第1項の規定により、議長が裁決します。

会派視察報告

政和会・公明党・胎政会

◎10月25日～27日

◎香川県多度津町・広島県尾道市

【たどつオリーブ生産組合】

香川県の多度津町は人口2万4千人の町であり、かつては「デラウェア」の産地であったが、近年では高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加傾向にあった。休耕地の有効活用として考えられたのが気候的に適したオリーブの栽培であった。順調に生産数を増やす中で委託している小豆島では限界があることから、国の推進する「地方創生」事業第1号として政府との共同出資によって生産工場を建設し、販売数を増加させているとのことだった。

【尾道観光協会】

尾道は、古くから瀬戸内海の要所として人々の交流が盛んな土地であったが、映画のロケ地になったことがきっかけとなり、年間観光客500万人という一大観光地となった。観光協会の主な収入は、尾道市から委託を受けた市営駐車場の管理委託料であるが、現在は、観光協会独自の収入を得るために、「美しいしまなみ海道」の景色を楽しめるレン

タサイクルにも力を入れていることに感銘を受けた。



オリーブ栽培を見学

緑風会

◎10月25日～27日

◎和歌山県田辺市・京都府舞鶴市

【学校統合に関して】

田辺市の学校統合の進め方は、「小中学校あり方検討委員会」を設け、提言書を作成し、生徒、保護者、地域と最善の方法を模索しながら進めたとのことであった。

基準を定め、段階を踏み、対象者の不安の軽減を図りながら進めることの重要性を認識した。

【カフェレストランでの障がい者雇

用について】

舞鶴市では、精神障がい者が、スタッフとして接客や料理の提供をはじめ、調理補助の仕事に従事している。

経営者の明確なビジョンと情熱を強く感じ、今後の本市の障がい者雇用には生かしていきたいと思い、大変参考になる視察となった。



舞鶴市 カフェレストラン「ほのぼの屋」

志政会とみどりの未来・日本共産党

◎11月13日～15日

◎長崎県松浦市・長崎県西海市・佐賀県伊万里市

【体験型旅行事業及び地産地消プラ

ンド促進について】

松浦市では受け入れ民家が500軒あり、年間2万5千人程度の修学旅行生の受け入れを行っていた。胎内市にて行う「ふるさと体験学習」との違いを感じた。

【子育て支援について】

西海市では、中高生を対象に赤ちゃんとのふれあいを通したライフデザインの授業や、母親を対象とした各種プログラムなどを行っている。当該市の出生率は1.92である。

【市民図書館の運営について】

伊万里市民図書館は、行政の直営ではあるものの、市民のボランティア団体が様々な形で運営の一翼を担っており、市民協働による図書館運営を実践していた。



伊万里市民図書館

常任委員会審査

総務文教

平成29年度胎内市鹿ノ俣発電所運
営事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ539万円追加し、
歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億
8千977万円1千円とするもの。

歳入の部で売買取入が当初予定し
ていたより多く見込まれることから
539万円を増額し、歳出の発電所費は
額が確定した各委託料を減額する
とともに、発電所の運転を庁舎で管理
する遠隔監視制御装置については、
装置設置から16年経過し更新が必要
になったことからその更新に伴う委
託料を計上した。

質問 新しく装置の本庁移設に伴い
職員は配置換えになるのか。

答弁 次年度以降配置換えというふ
うに考えている。

胎内市いじめ問題対策連絡協議会
条例

いじめの防止等に関係する機関及
び団体の連携を図るため、いじめ防
止対策推進法の規定に基づき、市内
の学校、教育委員会、児童相談所、

地方事務局、県警察その他の関係者
から構成される胎内市いじめ問題対
策連絡協議会を設置するもの。

質問 いじめについて、現在学校で
はどのような対策を取っているか。

答弁 学校ではいじめ防止基本計画
を定め、常設の組織としていじめ防
止対策組織を設けている。

付託された他7件についても可決
すべきと決定した。

厚生環境

国民健康保険税条例の一部を改正
する条例

国民健康保険の制度改正により、
いままで市町村が行っていた管理運
営を、平成30年度から都道府県に移
行することとなる。これにあたり保
険税の納期を10期としていたものを
9期に変更する。

質問 1期ごとの支払い保険料が上
がることになるが、滞納が増えない
か。

答弁 年税額は変わらない。納期ご
との税額をより平準化させることに

より、負担感が増すことを抑えた
い。

公の施設に係る指定管理者の指定
について

デイサービスセンターともだちに
ついて、平成30年4月1日から1年
間、社会福祉法人二王子会に管理運
営を行わせたいもの。同法人から
は、収支状況が悪化しており、この
1年間の終了をもって事業から撤退
したい旨の意向が示されている。こ
れを受けて市としては、新たな指定
管理者を公募することとし、現在の
利用者に迷惑をかけることのないよ
う円滑な引継ぎができるよう配慮す
る。

質問 新たに民間企業が手を挙げる
可能性はあるのか。市の負担を増や
さなければいけないのではないか。

答弁 社会福祉協議会で検討しても
らっている。また、補助的なものを
考えなければいけないと思ってい
る。

公の施設に係る指定管理者の指定
について

デイサービスセンター栗木野荘及
びいわはら荘について、平成30年4
月1日から1年間、社会福祉法人胎
内市社会福祉協議会に管理運営を行
わせたいもの。デイサービスセン
ターともだちと合わせ、今後の施設

のあり方を一体的に見直したいと考
え、指定期間を1年間とするもの。

質問 施設を統合していく考えは。

答弁 3施設の維持は難しいと思わ
れ、検討課題と考えている。

付託された他2件についても可決
すべきと決定した。

産業観光

平成29年度胎内市地域産業振興事
業特別会計補正予算について

歳入歳出予算総額に、歳入歳出そ
れぞれ1億520万円を追加し、歳入歳
出予算総額をそれぞれ5億3千706万
5千円とするもの。

質問 前年度に比べてワイン及び米
粉の実績はどうなっているのか。

また、他の市町村では米等の販売
促進に海外ヘトップセールスを行っ
ており、ワイン等の販売も広域事業
圏で行った方が販売量も上がると思
うが。

答弁 米粉については、前年度実績
2千72トン、今年度見込みは2千500
トンと増加、ワインについては、昨
年1年間で2万894本、今現在1万8
千794本、11月末の昨年同期と比較す
ると約3千800本の増加となってい
る。

米粉の海外輸出については新潟製

粉の方で検討はしている。ワインについてはワイナリーのキャパが決まっており本数的に対応ができないので今のところ考えていない。具体的な話はまだ決まっていないが、今後二市一町でDMOを構成しつつ、観光振興や農産物の販売に繋げるということを描いて行くという動きになっている。



日本ワインコンクールで入賞した胎内高原ワイン

※DMO
官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織 (Destination Marketing/Management Organization) S略。

まちづくり

平成29年度胎内市農業集落排水事業特別会計補正予算

補正予算の総額に変更はないが、乙、黒川、鼓岡、大長谷の各農業集落排水処理施設の維持管理委託業務と中条浄化センターの汚泥を柏崎市の処理施設まで運搬する業務を平成29年度中に委託契約するものである。その限度額を4千100万円とするもの。2件目も同じく各農業集落排水処理施設から排水される放流水の水質検査を平成29年度中に委託契約する必要があるため設定するものであり、限度額を70万円とするものである。

質問 委託は何年契約でどのように決まるのか。

答弁 契約年数は1年、合特法の関係で代替業務として委託するということで随意契約を計画している。

平成29年度胎内市公共下水道事業会計補正予算

歳入歳出に変更はないが、第2条債務負担行為を設定するもの。1件目の施設の維持管理業務は平成30年度の委託契約を29年度中に行いたいため、限度額を6千900万円と設定するもの。2件目の脱水汚泥運搬業務委託料については契約期間を平成30年から平成32年度までとして29年度中に契約したいため、限度額を3カ年合計で2千835万5千円として設定するもの。3件目の脱水汚泥処理業務についても3カ年を予定しており限度額を6千65万4千円とするもの。

の。
質問 単年度と複数年契約があるが違いは。

答弁 本来3年度契約としたいところだが下水処理場に、し尿処理場を作っている関係で平成31年の稼働前に契約内容を検討するため単年度契約としている。

付託された他2件についても可決すべきと決定した。

関会中所管事務調査報告

まちづくり常任委員会

11月20日、NSGグループである学校法人新潟総合学園が、新潟市北区と胎内市平根台に来春開校予定の新潟食料農業大学は、県内では18番目の大学で、胎内市では初めての大学であり、胎内キャンパスを視察し、関係者と懇談した。

施設は、旧アデランスの土地及び社屋を取得し再利用した管理棟・研究棟・実験棟・講義棟・厚生棟などと、開校に伴って設置した図書館、ランドなどが整備されていた。

8月に文科省から設置許可され、食料産業学部1学部1学科180人の定員である。教授は34名を予定している。

る。この大学では「食」と「農」と「ビジネス」を一体的に学ぶことが特徴となっている。1・2年生は、週4回胎内キャンパス、週1回新潟キャンパスで学び、3・4年生は、アグリ、フードコースはすべて胎内キャンパスで、ビジネスコースは新潟キャンパスで学ぶ。学生の居住地は180人中、約100人を一人暮らしと想定し、極力地元に住居するようにしており、つつじが丘にアパートを確保、他にも提携している不動産会社と連携を図っている。

また、地元農家との実践体験・各種イベント・祭りや中条三八市への参加など積極的に交流したいとのことであった。

(文責 丸山孝博)



平成30年4月に開校する『新潟食料農業大学』



平成30年第1 回定例議会日程(予定)

2月

- 15日 議会運営委員会
- 22日 第1回定例会本会議(初日)
- 27日 議会運営委員会
- 28日 総務文教常任委員会

3月

- 1日 厚生環境常任委員会
- 2日 産業観光常任委員会
- 5日 まちづくり常任委員会
- 8日 会派代表質問
- 9・12日 一般質問
- 13・14・15日 予算審査特別委員会
- 19日 本会議(最終日)

私は小学校の情報委員会で委員長をしています。築地小学校では、毎日当番の人が時間になると全校に向けて放送を流します。放送する内容が分かりやすく伝わるように話すことを心掛けています。情報委員会に入って仲間と協力して仕事をする大切さを知りました。



築地小学校 6年生
三野原 優羽 さんの作品です。

表紙の写真「胎内市を担う子どもたち」

私の将来の夢は…… 小池 涼花さん(小1) テニスコーチ
お母さんの想い 星花さん(4歳)
健康で力強く育てほしい 咲翔さん(1歳)



議会報モニターアンケート結果(主なもの)

No. 53 (平成29年12月28日発行)を見て

◎ 一般質問について (P2~P11)
今までのレイアウトですと上部に背景とタイトルがありました。今回はありませんでした。そのせいか全体がスッキリであり余白もほど良いことから大変読みやすく感じました。

◎ 決算審査特別委員会について (P12~P14)
グラフと表で表されていて非常に見やすい。歳入・歳出ともに「その他」の金額が比較的大きいのでそれぞれについての主な項目だけでも別表等で掲載したらどうか。

◎ 第3回定例会議決結果及び常任委員会審査について (P15~P17)
今までは議決結果が2ページにあったために、表紙をめくった時に「ウワー細かい」とその先を読む気持ちが失せる傾向にあったが、中程にあることで良いと思う。

◎ 行政視察・閉会中所管事務調査について (P18~P19)
視察報告は、当委員会では……は不要。文章の前に太字で現場視察、研修日、場所内容を表現し、文字だけでなく写真も記載して欲しい。

◎ 表紙・裏表紙について
胎内市の未来を担う子ども達の写真を選ばれたことは、とても良いと思います。その純粋な笑顔に元気づけられ勇気ももらえるのではないのでしょうか。行政も。

◎ その他、市議会に関するご意見、ご提言など
一般質問を見て、「へーそうなんだ」、「わかるわかる!!」という感じになりましたが、「それは、その地域だけじゃないよね」「一部しか見ていない意見なのでは?」というのもありました。

編集後記

相撲界と北朝鮮にふりまわされた年末年始でした。「災いを転じて」平昌オリンピック・パラリンピックからは多くの吉報を期待いたします。編集委員会も、見易く・読み易く・伝わり易くをモットーに、議員各位の理解とモニターの見解を尊重し、改善をめざす年頭といたします。

(高橋 政実 記)

◆平成30年2月15日 ◆発行責任者 議長 森田幸衛

FAX (0254) 4316111 (0254) 4417875

〒959-1269-3 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社エンジュ

